

# お口の健康

## 第18回 顎関節症の話①

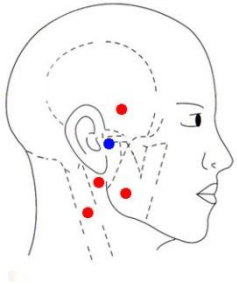
今回は、顎関節症についてのお話です。

ここ最近、テレビでも頻繁に取り上げられているので聞いたことがある方も多いと思いますが、では実際どんな病気でしょうか？

わかりやすく説明すると、①アゴの周りが痛い、②アゴの音が鳴る、③口が開かない、の三つのうち一つでも当てはまれば、顎関節症の疑いがあります。

具体的には、①左図の赤いポイント周囲に痛みを感じるか、②口を開けたり閉じたりする時に、左図の青いポイント周囲から、コキコキとかカクカク、カサカサ、ジャリジャリといった音が鳴るか、③口を開けたときに三横指が、縦にして口の中に入るか、

入らなければ口は開いてないこととなります。実際の目安としては、お寿司一貫が口の中に入るかどうかです。いかがですか？



十歳代後半から二十歳代の女性に多いといわれていますが、小学生や幼稚園児にも認められます。もちろん高齢の方も。ただ、重症化するのはまれで、軽症で緩解するのがほとんどのようです。とはいえっても、顎関節症は慢性疾患なので、一度症状が改善しても再発を繰り返す可能性があります。

原因は不明です。少し前までは歯の噛み合わせが悪いことが原因といわれていましたが、最近では噛み合わせよりもストレスとの関連が大きいとの見方がされてきています。例えばストレスによる歯ぎしりや食いしばりなどの習癖が顎関節に負担をかけ、悪影響を及ぼすともいわれていますが、因果関係ははっきりしていません。

それから顎関節症とよく似た症状でも全く別の病気があるので注意が必要です。関節リウマチや外傷、三叉神経痛、破傷風、腫瘍など、これらの疾患は、症状は似ていても治療法や対処法は全く違ってくるので、自己診断で顎関節症と決めつけるのは避けなければなりません。上記①～③のような症状をお持ちの方は、かかりつけの歯科医院にご相談ください。

次回は顎関節症②（治療法他）の予定です。

湯沢市・雄勝郡  
歯科医師会

ホームページ：  
<http://www.yutopia.or.jp/~yoda/>